

公益社団法人 岡山県柔道整復師会
令和6年度 夏期学術研修会
プログラム集
開催日 令和6年7月28日(日)



場所 ぐらしき健康福祉プラザ 5F プラザホール
主催 公益社団法人 岡山県柔道整復師会

令和6年度 夏期学術研修会

大会会長 山崎邦生
大会副会長 藤原澄男・塚崎康之・永田正太郎

実行委員長 藤原澄男
実行副委員長 小倉啓史
実行委員 河本勝成 中山えり子 廣田峻 佐々木友弥
司会 中山えり子
特別講演座長 小倉啓史

会場案内

会場 暮らしき健康福祉プラザ（5F プラザホール）
〒710-0834 岡山県倉敷市笹沖180
電話：086-434-9850



参加者への案内

- 会場内での写真およびビデオ撮影
発表中での写真撮影やビデオ撮影、録音は禁止です。

タイムスケジュール

■ 内 容

9:30 開会式

開会宣言 藤原澄男
会長挨拶 山崎邦生

9:50 特別講演

特別講演

「柔道整復師の未来を考える ～電子カルテを活用した新しい世界～」

講師: 明治国際医療大学 鍼灸学部 伊藤 和憲

11:00 「匠の技 伝承」プロジェクト

趣旨説明

技術指導 午前の部

12:30 休憩

13:30 「匠の技 伝承」プロジェクト

技術指導 午後の部

技術指導 藤原澄男

16:00 会員発表 3分間プレゼン

16:00 報告事項

16:30 閉会式

発表者記念品授与式

学術部長挨拶 小倉啓史

閉会宣言 永田正太郎

特別講演

題名: 柔道整復師の未来を考える ～電子カルテを活用した新しい世界～

明治国際医療大学 鍼灸学部 伊藤和憲

国はマイナンバーカードと保険証の紐づけを進めている。そのため、医療費や療養費の申請に関してもマイナンバーによるオンライン申請を進めている。しかしながら、鍼灸・柔道整復師の場合は、オンラインによる資格確認のみの限られており、療養費の申請は行えない。よって、今後は柔道整復師においてもオンライン申請に必要な機器、特に電子カルテの開発が必要となる。ただ、電子カルテを単に作っても意味はなく、柔道整復師の診療において有効なツールでなければいけない。そこで、柔道整復師の将来を創造しつつ、未来に必要な電子カルテは何かを考えてみたいと思う。

略歴

氏名: 伊藤和憲(いとうかずのり)

- ・明治国際医療大学 鍼灸学部 学部長・教授
- ・明治国際医療大学 大学院鍼灸学研究科 大学院研究科長・教授
- ・明治国際医療大学 地域・産学官連携推進センター長

学外

- ・日本疼痛学会 理事
- ・日本慢性疼痛学会 理事
- ・日本線維筋痛症・慢性痛学会 理事
- ・京都府鍼灸師会 理事
- ・一般社団法人 日本養生普及協会 会長
- ・日本地域健康医療コミュニティ研究会 会長
- ・京丹波ウェルネスツーリズム推進協議会 会長
- ・京都府南丹市「文化観光大使」
- ・YOJYOnet(株) CEO (学内ベンチャー企業)



「匠の技」伝承プロジェクト
岡山県一般会員講習会

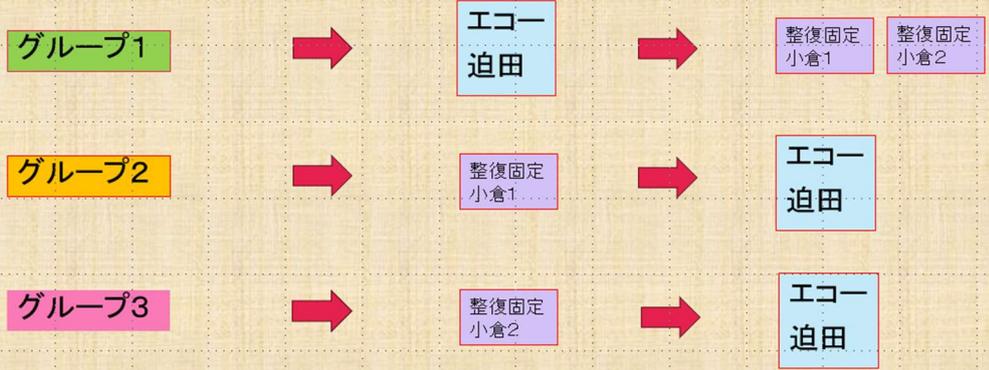
岡山東備支部			備前南支部		
講師	整復固定	小倉 啓史	講師	整復固定	折戸 祐二
	エコー	迫田 倫行		エコー	黒川 純
岡山備前 グループ 1	1班	恒次 秀浩	備前南 グループ 1	1班	合田 治郎
		佐保田実雄			友野 孝敬
	2班	金谷 直哉		2班	野村 久
		上野 弘司			小出 脩司
3班	津田 幹久	3班	武藤 晴信		
	栗本 雄一		木村仙之祐		
4班	杉山 徹	4班	尾高 充		
	吉田 康伸		宮本 哲志		
岡山備前 グループ 2	5班	山田 修作	備前南 グループ 2	5班	橋本 和佳
		根岸 昇太			高原 茂男
	6班	山本 鈴		6班	林 俊行
先村 成騎		三村 真輝			
7班	石川 翔海	7班	日高 愛美		
	迫田 展弘		笠井 清久		
岡山備前 グループ 3	8班	原田 大吉	備前南 グループ 3	8班	小林 道文
		福山 渉			畑中 聡志
	9班	岡田 幸仁		9班	藤岡 良平
藤本 仁		尾高 博			
10班	山崎 邦生	10班			
	スタッフ	藤原 澄男		スタッフ	中山えり子 佐々木友弥

美作・備中支部			倉敷支部		
講師	整復固定	宮岡 孝充	講師	整復固定	廣田 峻
	エコー	松本 拓磨		エコー	河本 勝成
美作・備 中 グループ 1	1班	小林 照幸	倉敷 グループ 1	1班	猪木 宏一
		田口 正智			難波 行孝
	2班	大倉 和晃		2班	河本 龍成
		川内 寿人			植村 吉孝
3班	橋本 和佳	3班	小林 国司		
	濱口 義弘		大星 博嗣		
4班	柴崎 清志	4班	森永 竜之		
	岡田 拓也		清水 俊秀		
美作・備 中 グループ 2	5班	小笠原和寿	倉敷 グループ 2	5班	大橋 晶子
		三宅 廣昌			津尾 伸
	6班	小笠原 遼		6班	佐田 芳明
長谷川利信		川本 淳一			
7班	弓取 博樹	7班	桐本 崇弘		
	佐藤 敬太		高橋 拓也		
美作・備 中 グループ 3	8班	下山 愛代	倉敷 グループ 3	8班	松本 雅弘
		永田 峰大			森上 和亮
	9班	小野原 和輝		9班	奈良崎裕明
谷 千春		藤田 航平			
10班	星賀 萌衣	10班	中原 幹治		
	藤田 成輝		田邊 篤志		



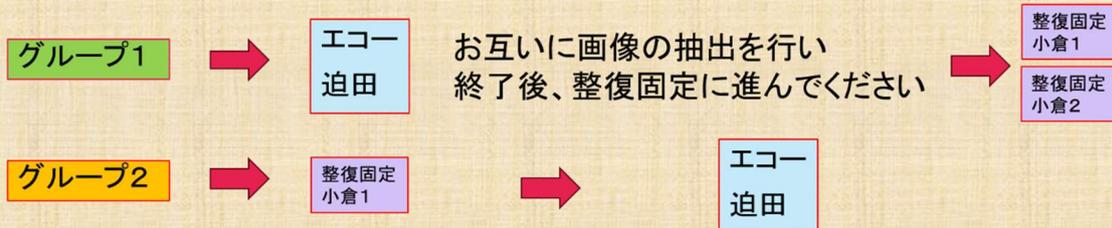
岡山東備支部を例にして流れを説明します

スタート時



※実技7分、入れ替え1分をお願いします。

2人ペアの班で回ってください。
1人の場合は各グループでフォローして下さい。



修復と固定は、続けていっぺんに行います。
終わったら、次のペアと入れ替わります。
固定をはずして、固定材料を返却したり包帯を巻いたりしてください。
グループの最後尾につき、もう一人のペアが修復と固定を行います。

受講票

- 受講票を持って各ブースを回ってください。
- 受講時の講師からサインをいただってください。
- 受講が終わりましたら回収箱に入れてください。
- 後日、日整に報告させていただきます。

「匠の技」伝承プロジェクト 岡山県一般会員向けの講習会

受講票

支部名 岡山東備支部
名 前 小倉 啓史

超音波観察装置ブース	修復・固定ブース
講師サイン	講師サイン

令和6年度 夏期学術研修会 令和6年7月28日

● 会員研修重点部位解説(整復・固定)

◇ 固定材料の作成方法と重点ポイント動画 3分

<https://www.youtube.com/watch?v=4TFB1Hk6qaA>



◇ 基本施術(一連施術確認)動画 7分

<https://www.youtube.com/watch?v=62uRIIVfSHQ>



◇ 整復における重要チェックポイント(重点説明)動画 4分

<https://www.youtube.com/watch?v=956QpKQJHeA>



◇ 参考動画:助手を使用した整復法 2分

https://www.youtube.com/watch?v=zup18KA_YpY



● 超音波観察装置研修(基本操作・観察)

◇ 基本操作確認(40分)

<https://www.youtube.com/watch?v=PIrNjKDyC0U>



◇ 超音波観察装置での観察手順

① 橈骨遠位端の観察方法 3分

<https://www.youtube.com/watch?v=6hRasLG-0fE>



② 超音波による抽出方法 4分

<https://www.youtube.com/watch?v=m1PknYk2B2w>



③ 橈骨の掌側からの抽出の注意点動画 1分

<https://www.youtube.com/watch?v=d5mGCxQNqOY>



④ 尺骨の観察方法 1分

<https://www.youtube.com/watch?v=vThz9v4VziA>



岡山県柔道整復師会 「匠の技」伝承プロジェクト作成動画

金属副子の作成方法

https://www.youtube.com/watch?v=36ZH-H2_408



酢酸シップの作成方法

<https://www.youtube.com/watch?v=tYtUN-EhBIY>



包帯巻き器(たいまきくん)使用方法

<https://www.youtube.com/watch?v=96WXxEJqyd4>



橈骨遠位端骨折の整復・固定動画(岡山県藤原バージョン)5分

<https://www.youtube.com/watch?v=zYkuu5fCdi8>



(1) 上肢台に前腕を置き、プローブを短軸に背側からあて、橈骨遠位端の〔リスター結節〕を描出する。短軸での描出後、プローブを回転させて長軸で描出する。



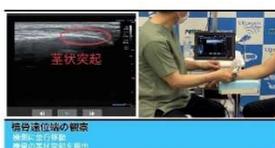
- 患肢長軸に対して正面に来るように座る。

- プローブのどちら側で中枢・末梢が描出されるかを確認する。

- プローブの持ち手は、安定するよう工夫する。

- エコーゼリーを盛り過ぎないように注意する。

(2) 橈側に平行にスライドさせ、〔橈骨茎状突起〕を描出する。

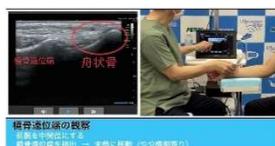


- 手首から先を上肢台の外に出し、左手で中手部より指先を把持する。

- 触診を元に、観察部位を特定する。

- 橈骨長軸を、中枢から末梢にかけて1本の線状高エコーとして描出する。

(3) 次に、前腕を中間位とする。掌側から橈骨遠位端を描出し、末梢（やや橈側寄り）にスライドさせ、〔舟状骨〕を描出する。



- 橈側にスライドさせる際は、プローブがぶれないように平行移動を意識する。

- 前腕中間位での描出の際は、患肢を回外させ過ぎないように注意する。

(4) 前腕は中間位のまま、観察していた位置から尺骨側にスライドさせ、〔月状骨〕を描出する。



- 舟状骨の特徴的な湾曲を観察する。

- 月状骨を描出したら、橈骨の線状高エコーを中枢から末梢まで綺麗に描出するようプローブを操作する。

コーレス骨折の整復法：受講者説明用

これからコーレス骨折に対する牽引直圧整復法を行っていただきます。(整復動作前の確認事項は省略いたします。) ※患側は右といたします。

- ①患者をマットに背臥位にして寝かせてください。
- ②患者の肩関節は外転 60°、肘関節屈曲 90° としてください。
- ③肩関節の回旋角度は、徒手整復が行いやすい肢位にしてください。
- ④フェイスタオルを上腕遠位部に当てます。



- ⑤術者は患者の患側に座り込み、フェイスタオルの上から足の裏を上腕遠位に当てがい、患者の手首を把持します。

- ⑥術者は両手の母指を遠位骨片背側に当て、両四指は掌側に当てがい手根部とともに遠位骨片を把持してください。



- ⑦患者に深呼吸を指示してください。
術者は呼気時に合わせて整復操作を行っていきます。

- ⑧前腕回内・尺側方向に末梢牽引を行ってください。
末梢牽引は緩めずにおいてください。
この操作は、回外転位、短縮転位、橈側転位の整復を目的として行っています。

- ⑨次に両示指で近位骨片遠位位端を掌側から背側に向って圧迫し、遠位骨片背側にある母指で背側から掌側に向けて直圧、手関節を掌屈・尺屈してください。

これにて整復操作を終了いたします。
なお、牽引は緩めず整復肢位を保持しておいてください。
患者自身に患部を把持させイスに座っていただきます。

次に固定に移っていきます。



橈骨遠位端骨折の固定法：受講者説明用

固定材料は準備しておきます。

金属副子1本、酢酸シップ、5裂包帯1巻、
紙絆創膏、三角巾

健側を用いて金属副子の採型を行っておく。

固定肢位：前腕回内位、手関節軽度掌屈・尺屈位

固定範囲：前腕近位からPIP関節まで

固定開始

あらかじめ固定材料は、
術者の手の届くところに置いておいてください。



①整復後の患肢保持の状態から始めてください。

(橈骨茎状突起と尺骨茎状突起の高さを触診により確認してください。)

②患部に酢酸シップを当てて包帯で固定します。



③掌側側に金属副子を当てて包帯で固定します。



④知覚、循環、運動確認を行ってください。



⑤三角巾で堤肘してください。



三分間プレゼン発表者

①ともに接骨院

佐々木 友弥 先生

佐々木考案エレサス通電方法追記



②倉敷ひろた整骨院

廣田 峻 先生

「矯正施術」やってみた！！



③あさひ整骨院

根岸 昇太 先生

神経モビライゼーションによる変化



【展示業者リスト】

①株式会社 丸五

〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町 1680-1

TEL: 086-428-0230 (代)

②株式会社グレート

〒700-0945 岡山県岡山市南区新保 1171-8

TEL: 086-223-3645

③株式会社 エス・エス・ビー

〒702-8032 岡山県岡山市南区福富中1丁目4-5

福富グリーンビル

TEL: 086-262-0346

④株式会社ケアセラ

〒721-0973 広島県福山市南蔵王町6丁目26-20

かもめマンション1F

TEL:084-959-6626 FAX:084-959-6636